



26:1 あなたの神、主が相続地としてあなたに与えようとしておられる地には行って行き、それを占領し、そこに住むようになったときは、

26:2 あなたの神、主が与えようとしておられる地から収穫するその地のすべての産物の初物をいくらか取って、かごに入れ、あなたの神、主が御名を住まわせるために選ぶ場所へ行かなければならない。

26:3 そのとき、任務についている祭司のもとに行き、「私は、主が私たちに与えると先祖たちに誓われた地にはいりました。きょう、あなたの神、主に報告いたします。」と言いなさい。

26:4 祭司は、あなたの手からそのかごを受け取り、あなたの神、主の祭壇の前に供えなさい。

26:5 あなたは、あなたの神、主の前で、次のように唱えなさい。「私の父は、さすらいのアラム人でしたが、わずかな人数を連れてエジプトに下り、そこに寄留しました。しかし、そこで、大きくて強い、人数の多い国民になりました。

26:6 エジプト人は、私たちに虐待し、苦しめ、私たちに過酷な労働を課しました。

26:7 私たちが、私たちの父祖の神、主に叫びますと、主は私たちの声を聞き、私たちの窮状と労苦と圧迫をご覧になりました。

26:8 そこで、主は力強い御手と、伸べられた腕と、恐ろしい力と、しるしと、不思議とをもって、私たちをエジプトから連れ出し、

26:9 この所に導き入れ、乳と蜜の流れる地、この地を私たちに下さいました。

26:10 今、ここに私は、主、あなたが私に与えられた地の産物の初物を持ってまいりました。」あなたは、あなたの神、主の前にそれを供え、あなたの神、主の前に礼拝しなければならぬ。

26:11 あなたの神、主が、あなたとあなたの家とに与えられたすべての恵みを、あなたは、レビ人およびあなたがたのうちの在留異国人とともに喜びなさい。

「初穂」を主にささげるということは、主を第一にしているということです。収穫して十分に蓄えて、その残りをささげるのではありません。主にささげた後に、その後刈り入れができなくなるということはまずないと思いますが、仮にそうであったとしても、まず主にささげるのです。主が与えてくださった収穫だからです。それは今の私たちも同じです。

またそのささげものには信仰と感謝が込められます。単に収穫が与えられたというだけではなく、そこには信仰の理解がありました。すなわち、この収穫をもたらした地は、主への信仰で従ってきた約束の地なのだということです。主は信仰のゆえに祝福して下さるのです。私たちの収入や成功もまた主のご計画と約束、それに従った信仰のゆえであることを覚えて、主に感謝し、そして主へのささげものを優先させましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

